

[条例施行規則64条関係（500 t 以上1000 t 未満排出事業者用）]

（様式第33号）（第64条関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 2 日	
(宛先) 長野市長 荻原 健司 様	
提出者	
住 所 長野市大字北長池 1 6 3 9 番地 6	
氏 名 信和建設株式会社	
代表取締役 清水 義弘	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0 2 6 - 2 1 7 - 8 6 0 3	
産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する 条例第79条第1項の規定により提出します。	
事 業 場 の 名 称	信和建設株式会社
事 業 場 の 所 在 地	長野市大字北長池 1 6 3 9 番地 6
計 画 期 間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	総合工事業
② 事 業 の 規 模	資本金 5, 0 0 0 万円
③ 従 業 員 数	1 4 人
④ 産 業 廃 棄 物 の 一 連 の 処 理 工 程	① 管布設、基礎工事等施工家庭からの処分予定量を設計図書より把握 ② 建設廃棄物処理委託契約書の締結、マニフェスト準備 ③ 工事現場からの発生 ④ マニフェスト発行・処理・回収(産廃帳簿により管理) ⑤ 年度末に行政機関へ報告 ⑥ 法定期間保存

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
(管理体制図)							
① EMS最高責任（社長）は環境管理責任者を任命							
② 環境管理責任者は現場を含む全体の施工活動における排出監視・測定・管理を行う							
③ 年1回の内部監査により問題の有無を調査し、環境委員会において活動の評価、問題分析、課題設定目標の見直し、新たな目標・行動計画を策定する							
④ 現場責任者、個々の社員は会社の目標・行動計画に沿って、自らの課題としてとらえ実行する							
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	木くず	建設混合廃棄物(安定型、管		
	排 出 量	523.00t	16.35t	18.14t	0.10t		
	産業廃棄物の種類						
	排 出 量						
	(これまでに実施した取組) ①委託契約書の速やかな締結 ②分別の徹底 ③処理予定量の場合内表示						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	木くず			
	排 出 量	480.00t	10.00t	10.00t			
	産業廃棄物の種類						
	排 出 量						
	(今後実施する予定の取組) ① 本計画・実施結果の周知 ② 処理予定量の場合内表示						
産業廃棄物の分別に関する事項							
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ① 排出予定量の掲示 ② 現場事務所設置と同時の分別場所、容器を明確にする						
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ① 当該実績報告、計画周知 ② 産廃適正処理教育の定期実施(毎年10月)						
②計画							

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	木くず	建設混合廃棄物(安定型、管		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	木くず	建設混合廃棄物(安定型、管		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	木くず	建設混合廃棄物(安定型、管		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	木くず	建設混合廃棄物(安定型、管		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	木くず	建設混合廃棄物(安定型、管		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	木くず	建設混合廃棄物(安定型、管		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等	木くず	建設混合廃棄物(安定型、管埋型)		
	全処理委託量	523.00t	16.35t	18.14t	0.10t		
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量	523.00t	16.35t	18.14t			
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量						
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	(これまでに実施した取組)						
	①委託契約書の早期締結 ②委託業者の許可内容、有効期限の確認と徹底 ③処理施設の処理状況の現地確認を実施						

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	廃プラスチック類(廃タイヤ、発泡スチロール等)	木くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)		
	全処理委託量	480.00t	10.00t	10.00t			
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量	480.00t	10.00t	10.00t			
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量						
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	(今後実施する予定の取組)						
	①委託契約書の早期締結 ②委託業者の許可内容、有効期限の確認と徹底 ③処理施設の処理状況の現地確認を実施						
	※事務処理欄						

(第6面)

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類														
		がれき類 (コンクリが ら、廃アス ファルト、し スチロール)	廃プラス チック(廃タ イヤ、発泡 スチロール)	木くず	建設混合 廃棄物(安 定型、管理 型)											合 計
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	523.00t	16.35t	18.14t	0.10t											557.59t
	本年度排出量(計画)	480.00t	10.00t	10.00t												500.00t
自ら行う(行った) 再生利用に関する事項	前年度実績															
	本年度計画(目標)															
自ら行う (行った) 中間処理 に関する 事項	自ら行う (行った) 熱回収の量	前年度実績														
		本年度計画(目標)														
	自ら中間処理 により減量 する(した)量	前年度実績														
		本年度計画(目標)														
自ら行う(行った)埋立処 分又は海洋投入 処分に関する事項	前年度実績															
	本年度計画(目標)															
処理の委託に 関する事項	全処理委託量	前年度実績	523.00t	16.35t	18.14t	0.10t										557.59t
		本年度計画(目標)	480.00t	10.00t	10.00t											500.00t
	優良認定処理業者 への処理委託量	前年度実績														
		本年度計画(目標)														
	再生利用業者への 処理委託量	前年度実績	523.00t	16.35t	18.14t											557.49t
		本年度計画(目標)	480.00t	10.00t	10.00t											500.00t
	認定熱回収業者への 処理委託量	前年度実績														
		本年度計画(目標)														
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	前年度実績														
		本年度計画(目標)														

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。